

# 絵本の本棚

「絵本の本棚」は子どもたちに読み聞かせをしている方々(おうちの方や読み聞かせボランティアの方、学校の先生など)に向けて、絵本選びの参考になればということで作成しているテーマ別リストです。



## テーマ【かがくえほん】

みのまわりには「なんで?」「ふしぎ!」と思うことがたくさんありますね。そのぎもんに答えてくれるのが「かがくえほん」です。ふしぎのせかいをのぞいてみよう!

(凡例)

### 書名

著者名等 出版者 出版年 請求記号

あらすじ

☆キーワード

※対象区分はおおよその目安となりますので参考にしてください。



## 幼児から

### ながーい5ふん みじかい5ふん

リズ・ガートン・スキャンロン/文 オードリー・ヴァーニック/文 オリヴィエ・タレック/絵  
木坂 涼/訳 光村教育図書 2019.10 Z933.7/時/

順番待ちの5分は長いけど、絶叫マシンの5分は一瞬。感じる時間の長さは、時計の時間と全然違う!5分は長い? 短い? 時間のおもしろさにふれる絵本。

☆時間

### ぼくのおおきさ

殿内 真帆/作・絵 高柳 雄一/監修 フレーベル館 2017.10 Z404/ト/

「大きくなったねえ」と言われる度に「ぼくは、ぼくのおおきさだよ」と、思うトッチ。大きい、小さいって、何だろう? さまざまな条件で変化する大きさの不思議を追いかけます。

☆大きさ

### こんなおおきなかず、みたことある?

セス・フィッシュマン/作 イザベル・グリーンバーグ/絵 竹内 薫/訳 2020.2 Z412/ア/

この世界は、大きくて巨大で、信じられない数であふれている。宇宙には、1千垓個の星がある。地球が青いのは14垓リットルもの水があるから。地球の町や村には77億人もの人が住んでいる…。大きな数の絵本。

☆数

## みいちゃん、どこまではやくはしれるの？

田中 幸／作 結城 千代子／作 浅沼 とおる／絵 フレーベル館 2019.2 Z423/姉/

かけっこの苦手なみいちゃんは、犬のタンタンと一緒にかけっこの練習をすることに。いったいどこまで速く走れるようになるのでしょうか？ 速く走るためのコツから相対性理論まで、「速さ」のすべてにせまる科学絵本。

☆速さ

## よわいかみ つよいかたち

かこ さとし／著 童心社 1988.9 Z423/加/

同じ紙でも切ったり、折ったりして、形を工夫すると強くなります。力学の原理を楽しく教えます。

☆紙、力

## まほうのコップ

藤田 千枝／原案 川島 敏生／写真 長谷川 摂子／文 福音館書店 2012.9 Z913.8/ガ/

たねもしかけもありません。コップの後ろにいちごを置くと…あらら、ぐんにやりつぶれちゃった！コップに水を入れるだけ、まほうのコップのできあがり。

☆水、光

## みずとはなんじゃ？

かこ さとし／作 鈴木 まもる／絵 小峰書店 2018.11 Z435.44/加/

朝起きて、顔を洗う「みず」。うがいをしたり、飲んだりする「みず」。花や植木の根本に注いでやる「みず」…。水は一体どんなものなのでしょうか？ 水をとおして共生の大切さを伝える、かこさとし最後の絵本。

☆水

## おつきさまこっちむいて

片山 令子／ぶん 片山 健／え 福音館書店 2010.1 Z913.8/加/

少年がいろんな形のおつきさまといろんなところで出会う。あっちをむいていた三日月が、だんだんこっちを向いてくる…。おつきさまと仲良くなれる絵本。

☆月

## きょうおひさまがでなかったら

塚本 やすし／作・絵 縣 秀彦／監修 フレーベル館 2017.2 Z444/幼/

ある日、おひさまがいなくなりました。おひさまがいなくなった世界はどうなるの？ ぼくは、おひさま探しの旅に出て…。太陽が人間にとって、身近で大事な存在であることを伝えます。

☆太陽

## ぼくのいまいるところ

かこ さとし／著 太田 大輔／絵 童心社 1988.8 Z443/加/

いま、ぼくがいるところはどこ？ 小さな自分の場所から、だんだん宇宙へと広がる科学の絵本。  
☆宇宙

## くもとそらのえほん

五十嵐 美和子／作・絵 武田 康男／監修 PHP 研究所 2019.4 Z451.61/伽/

今日も地球の空の上で、ふわふわと浮かんでいる雲。光によっていろいろな色になったり、風の流れて形を変えたりしています。今日の空の雲は、どんな雲でしょう。ながめてみましょう。

☆雲、空

## おかしなゆきふしぎなこおり

片平 孝／写真・文 ポプラ社 2012.11 Z451.66/伽/

雪が降ったら、外へ出かけてみよう。あっちにもこっちにも、雪や氷のおかしな形が見えるはず。冷たい空気と水がつくる、大迫力の雪と氷の世界を写真で紹介します。

☆雪、氷

## 中をそうそうしてみよ

佐藤 雅彦／作 ユーフラテス／作 福音館書店 2012.3 Z913.8/卍/

椅子、鉛筆、ボールペン、貯金箱など身近なものの中身をX線写真を使って透かして見ると、いつもと違うものや、見えなかったものが見えてきます。

☆X線写真

## いろいろいっぱい ちきゅうのさまざまないきもの

ニコラ・デイビス／文 エミリー・サットン／絵 越智 典子／訳 ゴブリン書房 2017.2

Z460/テ I/

地球には、何種類の生きものがあると思う？ 大きな生きもの、小さな生きもの、微生物…。地球には生きものがあふれていて、すべての生きものが互いに結びついていることを伝えます。

☆いきもの

## カエルくんのだいはっけん！

松岡 達英／作 小学館 2016.5 Z468/マツ/

ぼくはアマガエル。池で生まれたんだ。池の外は、どんな世界かな？ うんちを食べてる虫、爆発する丸いふくら…。ドキドキワクワクの大冒険に出発だ！

☆カエル、いきもの

## 木

佐藤 忠良／画 木島 始／文 福音館書店 2005.7 Z913.8/杉/

いっぽんの木をじっくりと見たことがありますか？ 老樹たちの曲がりくねった胴体、しっかりと地球を捉えながら支えている根っこたち。木はいろいろなことを語りかけてくれます。

☆木

## 雑草のくらし あき地の五年間

甲斐 信枝／さく 福音館書店 1985.4 Z470/加/

植物はどんなくらしをしているのでしょうか？ 雑草の世界を5年にわたって見つめ続けてきた著者がそのくらしを魂を込めて描きます。

☆草

## じめんのうえとじめんのした

アーマ E.ウェバー／ぶん・え 藤枝 濤子／やく 福音館書店 1968 Z471.3/丸/

わたしたちが見る世界は、ふだんは地面の上に限られていますね。この絵本は、動物や植物が、地面の上と下をうまくつかいわけて生活しているようすを、単純明快に描いています。地面の下の世界も覗いてみよう。

☆土

## はなをくんくん

ルース・クラウス／ぶん, マーク・シーモント／え, きじま はじめ／やく 福音館書店 1967.3 Z933/ワ/

雪深い森の中、冬眠から突然さめ、はなをくんくんさせて駆けていく動物たち。やわらかいタッチの美しい絵と詩のような文で、自然の摂理と喜びを無理なく子どもたちに語りかける名作。

☆季節 自然

## ふゆめがっしょうだん

富成 忠夫／写真 茂木 透／写真 長 新太／文 福音館書店 1990.1 Z471/トミ/

冬の公園や雑木林で、木の芽を見てごらん。ほら、ウサギさんがいたりコアラ君がいたり……冬芽って動物たちの顔に見えるんだね。木の芽の冬の姿を撮影、拡大した愉快的な写真絵本です。

☆木 芽

## ぼく、だんごむし かがくのとも傑作集 ときどきしぜん

得田 之久／ぶん たかはし きよし／え 福音館書店 2005.4 Z913.8/ワ/

やあ! こんにちは。僕のことなんだかわかる? 僕はだんごむし。だんごむしの視点からだんごむしの生態を描く絵本。

☆ダンゴムシ 昆虫

## ほね、ほね、きょうりゅうのほね

バイロン・バートン／作 かけがわ やすこ／訳 インターコミュニケーションズ 1998.2  
Z933.7/バト/

ほねは ないか。ほねは ないか。ティラノサウルス、アパトサウルス、ステゴサウルス、トリケラトプス……。恐竜の骨を探して、ほり出して、組み立てる。ビビッドな色と、太いふちが特徴の絵と、シンプルでリズムカルな文章が、大人気のバイロン・バートンの楽しさいっぱい！ 恐竜絵本。

☆恐竜 骨

## いき

中川 ひろたか／作 北村 裕花／絵 アリス館 2019.2 Z481.33/カ/

生きているものはみんな息をしている。息をしないとみな生きられない。だから「いきもの」っていうのかな。自分の息から、動物、虫、植物の呼吸まで考え、地球環境へとつながっていく絵本。

☆いきもの

## バッタロボットのぼうけん

まつおか たつひで／作 ポプラ社 2018.6 Z482/マツ/

バッタ型のロボットに乗って、ボルネオ島からオーストラリア、ニュージーランドまで、生きものを調べに、冒険旅行へ出発！ 大自然と生きものたちをイラストで紹介する絵本。

☆いきもの 昆虫

## みんなのかお

さとう あきら／写真 とだ きょうこ／文 福音館書店 1994.11 Z481.1/タ/

同じゴリラでも、よく見るとみんな個性あふれる表情をしています。キリンもラクダもカバもそうです。24種の哺乳類をそれぞれ21頭ずつ、日本中の動物園を巡って撮った写真絵本です。

☆動物

## どうぶつのおやこ

藪内 正幸／画 福音館書店 1966 Z489/ヤ/

子どもの大好きなライオンやキリン、身近に見られるイヌやネコなどを、やわらかな毛の手ざわりや息づかいまでもが感じられるほどに描いた愛情あふれる絵本。

☆動物

## にわやこうえんにくるとり

藪内 正幸／著 福音館書店 1989 Z488/ヤ/

スズメ、カラス、シジュウカラ、ヒヨドリなど、町中に住んでいても見られる鳥20種を生き生きと描いています。ふだん見過ごしがちな身近な鳥の美しさを見直させてくれます。

☆鳥

## みんなうち

五味 太郎／さく 福音館書店 1981 Z481.34/ゴミ/

子どもにとって興味のある、そして大事な「うち」をユーモアいっぱい描いた絵本。「いきものはたべるから、みんなうちをするんだね」というお話。

☆いきもの うち



## 小学1・2年生から

### 1つぶのおこめ さんすうのむかしばなし

デミ／作 さくま ゆみこ／訳 光村教育図書 2009.9 Z929.8/デミ/

ケチな王様をこらしめるため、ラーニは褒美にお米を所望した。1日目は1つぶ、2日目は倍の2つぶ…。30日目には、何つぶ？ 算数にまつわるインドの昔話を細密画風に描いた楽しい絵本。

☆数

### ライオンのおもさはかれる？

ロバート・E・ウェルズ／さく せな あいこ／やく 評論社 1999.3 Z423.5/ウ/

きみは、ライオンを持ち上げようと思ったことある？ パンダを、板の上ののっけてひっぱったことなんか、ある？ 身近なことから「重力」「てこ」「摩擦」「抵抗」「滑車」について学びます。

☆重さ

### うるさく、しずかに、ひそひそと 音がきこえてくる絵本

ロマナ・ロマニーシン／著 アンドリー・レシヴ／著 広松 由希子／訳 河出書房新社 2019.10 Z424/ウ/

美しいグラフィックで「音」や「聴くこと」について、子どもにもわかるように絵が音を語る、初の試み。プラティスラヴァ世界絵本原画展（B I B）とボローニャ・ラガッツィ賞のダブル受賞作品！

☆音

### 惑星 MAPS 太陽系図説

宇宙兄さんズ／文 イケウチ リリー／絵 誠文堂新光社 2018.6 Z445/ウ/

地球の外の惑星はどんなところなのか？ 行ったら何ができるのか？ 「太陽系旅行のためのガイドブック」として、各惑星の特徴を最新研究のデータに基づきわかりやすく紹介する。

☆宇宙

### せかいのひとびと

ピーター・スピアー／えとぶん 松川 真弓／やく 評論社 1982.1 Z389/ル/

私たちのこの地球には、いったいどんな人たちが暮らしているんだろう？ 体の大きさ、肌の色、顔の形、住んでる家、好きな遊び、話す言葉…。世界にはさまざまな民族、風習、言語、文化などがあることを、やさしく説明。それぞれがちがっていることの素晴らしさを伝える大型絵本。

☆人

## さかなのたまご いきのこりをかけたさいくせん

内山 りゅう／写真・文 ポプラ社 2017.7 Z487.51/好

子孫を残すために小さな魚たちは、さまざまな驚きの作戦をとっています。川底の砂利に卵を産んで隠すサケ、貝に管を差し込んで卵を産むニッポンバラタナゴ…。魚たちの個性あふれる作戦の数々を迫力の写真で紹介します。

☆魚

## もぐらはすごい

アヤ井アキコ／著 アリス館 2018.5 Z489.41/アヤ/

まっくらな土の中に住んでいるもぐら。どうやって土を掘るんだろう？ いつ寝て、いつ起きるんだろう？ もぐらが掘ったトンネルの中はどうなっているんだろう？ 謎だらけの暮らしを紹介します。

☆もぐら

## 細菌ホテル

キム ソンファ／文、クォン スジン／文、キム リョンオン／絵、猪川 など／訳、岡田 晴恵／日本語版監修、チョン ジョンシク／韓国語版監修 金の星社 2020.6 Z491.7/キム/

目に見えないほど小さな生物、細菌。その一つである大腸菌が話し手となって、人体での細菌の動きを伝える絵本。体内でよい働きをする腸内細菌や、病原菌となる細菌、抗生物質や免疫細胞の働きなどがやさしくわかります。

☆菌



## 小学3・4年生から

### りんごだんだん

小川 忠博／写真と文 あすなろ書房 2020.2 Z625.21/加/

おいしそうな「りんご」を1年ほどしまっておいたら、どうなると思いますか。しわしわ、ぱんぱん、しなしな、ぐんにやり…。誰も見たことのない「りんご」が朽ちていく過程を写真で紹介します。

☆くだもの 時間

### ひとすじの光

ウォルター・ウィック／文・写真、千葉 茂樹／訳、佐藤 勝昭／監修 小学館 2019.7 Z425/ウイ/

すべての物質は原子でできている。では、光とはなにか？ なにでできているのか？ 白熱光、光の屈折、分光スペクトル、太陽…。驚きに満ちた光について、視覚的にわかりやすく紹介します。

☆光

### そうだったのか！しゅんかん図鑑

伊知地 国夫／写真 小学館 2018.2 Z746/伊/

消える、落ちる、こぼれる…。肉眼で見えない瞬間を切り「撮った」写真絵本。ふだん何気なく見ているものを、その瞬間でストップ！して撮られた写真は驚きの連続です。

☆時間

## 天動説の絵本 てんがうごいていたころのはなし

安野 光雅／著 福音館書店 1979.8 Z448/ア/

地球が全宇宙の中心だと信じていたころの人びとが考えていた世界とは、いったいどんな世界だったのでしょうか？ 中世然とした作りの、ユニークな科学絵本。絵本にっぽん賞受賞作品。

☆地球

## 石ころ地球のかけら

桂 雄三／文 平野 恵理子／絵 福音館書店 2018.6 Z458/カ/

浜辺に行くと、たくさんの石を見かけます。それらは、元からそこにあったのでしょうか。いいえ、そうではありません。石ころは気が遠くなるような年月をかけて、地球を移動しています。その壮大な旅のようすを描いた作品です。

☆石

## わたしたちのたねまき たねをめぐるいのちたちのおはなし

キャスリン・O.ガルブレイス／作, ウェンディ・アングス・ハルパリン／絵, 梨木 果歩／訳  
のら書店 2017.10 Z933.7/ガル/

太陽、風、雨、水、動物、そして人間たち……すべてのいのちたちがともに地球という大きな庭にたねをまき、そだてていることを描いた美しい絵本。

☆たね

## わらいのひみつ

おおの こうへい／作・絵 雨宮 俊彦／監修 フレーベル館 2021.3 Z141.6/材/

どうして僕はわらうんだろう？ 人ってなにを面白いと感じるの？ わらっているとき体はどうなっている？ 双子の兄弟が謎のわらい仙人といっしょに、わらいを大解剖する。

☆体

山形県立図書館 経営課調査相談担当

〒990-0041 山形市緑町 1-2-36 (023)631-2523

URL <http://www.lib.pref.yamagata.jp/>